



小塚古墳群（こづかこふんぐん）

小塚古墳群は北区貢町に所在します。道路建設に伴い2基の古墳を調査しました。古墳は直径20mほどの円墳で、内部に横穴式石室を備えていました。

2号墳の石室は南東方向に開口します。石室は全長4.5m、複室構造の石室です。これに5.3mの墓道がつきます。奥の玄室には「コ」の字形の仕切りをした、3体分の埋葬空間がありました。副葬品は少なかったのですが、ガラス小玉が40点以上出土しています。2号墳の年代は石室の特徴から6世紀の後半と考えられます。

3号墳は南に開口します。石室の全長は5.9m。こちらも複室構造の石室です。江戸時代の終わりに盗掘を受け、古墳は周囲とともに埋められていました。そのため、墳丘がよく残っています。墳丘の高さは2mを超えていました。



2号墳主体部



3号墳出土のたくさんの遺物



3号墳出土の鉄刀
長さは1mを超えます。

墳丘の裾からたくさんの遺物が出土していますが、本来の位置はわかりません。しかし石室の壁に沿った空間から鉄刀と鉄鏃が見つかりました。こちらは盗掘を免れたようです。3号墳の年代は出土土器より6世紀の中ごろと考えられ、2号墳よりも早いです。小塚古墳は装飾古墳で有名な釜尾古墳の近くに位置し、古墳の年代もほぼ同じです。きっと釜尾古墳の被葬者を補佐した人物が眠っているのでしょう。